

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名					
71211	住民税課税徴収事務	住民税務課	住民税係	向山 光	伊藤 公一					
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2107					
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分				予算コード	事業名(歳出予算見積書)			
		<input checked="" type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	0230	税務総務事務			
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	0231	賦課徴収事務				
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)			7章	効果的・効率的な行財政運営のまちづくり			
		節	(コード選択)			1節	地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進			
		項[基本施策]	(コード選択)			2項	計画的な財政経営の推進			
目[主な施策]		(コード選択)			1目	財政の健全化				
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他		
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民税の納税義務者

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

町の歳入の根幹である町税の収納を確保する

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	住民税の申告を促すために広報を行う
2	未申告者への申告の催告を行い、公平かつ適正な課税を行う
3	特別徴収(給与)実施の推進
4	

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度	年度(見込み)	
①	指標名	未申告者数		178	192	178	0.93	178
	説明	所得の未申告者数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				
②	指標名	特別徴収の推進		22	22	36	0.61	36
	説明	特別徴収の実施を依頼した件数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度	年度(見込み)	
①	指標名	個人住民税の決算額		916,062	895,708	860,000	0.96	860,000
	説明	決算額		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				
②	指標名	現年度課税分の徴収率		98	98	98	1.00	98
	説明	現年度徴収率		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み
		28,276	24,007	25,035	363
対前年比	%	/	84.9	104.3	1.4
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	0
B)一般財源(税金)		28,276	24,007	25,035	363
①事業費	(千円)	2,845	316	363	363
対前年比	%	/	11.1	114.9	100
②人件費の概算	(千円)	25,431	23,691	24,672	0
対前年比	%	/	93.2	104.1	0
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		/	/	/	/
町職員(正規職員)		24,681	22,892	23,873	0
臨時職員		750	799	799	0

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 窓口業務
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない	
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 国税連携、イータックス、エルタックス	
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	C	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください	

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

<今後の展開方針> (イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
国税連携、イータックス、エルタックス等のデータの流れを整理し、効率的な事務を行う。個々の担当者が入力するデータの格納のタイミングとデータの収納場所を理解し、連携した作業を行う。	[反映内容]

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	まずは、申告データを確実に入力することが、次のアクションにつながることから、申告の流れを整理し、申告会場の処理効率を改善した。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
イータックス、エルタックスの利用促進、小規模事業所への特別徴収の勧奨を進め、効率的に課税・徴収事務が行えるようにすることが重要である。未申告者への対応を強め、課税客体の適正な把握に努める必要がある。また、申告期に向けて、すべての税務職員が事前学習を積み、申告相談に対する一層の資質の向上を図る必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択